

ともだち



人と人との出会いを大切に
笑顔の輪を広げましょう

たかさき し こくさいこうりゅうきょうかいかいほうだい 107号
高崎市国際交流協会会報第107号

2022.12

◆新会長紹介

11月1日付けで串田紀之氏(高崎商工会議所会頭、クシダ工業株式会社社長)が、児玉正藏会長の後任として、高崎市国際交流協会の会長に就任しました。



高崎市国際交流協会会長
串田 紀之 氏

このたび、新しく会長に就任した串田でございます。

前会長のご功績を引継ぎ、精一杯努めさせていただき所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

現在、高崎市には様々なきっかけで多くの国から来日した外国人が生活し、企業や学校、地域などで活躍

をしています。コロナ禍により一時期は外国人住民が減少しましたが、今年度に入りまた増加に転じ、初めて6,000人を上回りました。

異なる文化を持つ人と地域で共に生活していく上で、言葉や文化の違いを認め合える多文化共生社会の実現がますます重要となっております。

この多文化共生社会を目指し、当協会では日本語教室の運営や国際交流の集い、各種イベント、講演の開催など、相互理解のきっかけづくりのお手伝いを30年以上にわたりに行っているとのことで、会員の皆様のごこれまでのご尽力に改めまして敬意を表する次第でございます。

高崎市では現在、ウクライナからの避難民を受け入れており、10月にはウクライナ新体操選手団の避難宿の受け入れを行いました。また、姉妹都市のチェコ共和国プルゼ

ニ市と、東京オリンピック・パラリンピック時のホストタウンのポーランド共和国ポズナン市へは、皆様からいただいた募金や寄附金を送り、ウクライナから両市へ避難してきた避難民の支援に役立てていただいております。

高崎市がグローバルな視点に立ったまちづくりを推進するためには、当協会の果たす役割はますます大きくなっていくものと思います。時勢に応じ、今まで行ってきた様々な交流事業に加え、より多くの分野での支援や交流を行ってまいりたいと考えております。

今後も、会員皆様のご指導とご支援のもとで、本市の国際交流を強化してまいりたいと存じますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

◆トピックス(2022年10月~11月)

■COOL TAKASAKI 発信事業 茶道体験



11月6日に高崎シティギヤラリーで行われた合同茶会(高崎市・高崎茶道会主催)に、在住外国人5人が参加し、3つの流派のお茶席を体験しました。参加者は、

茶道の先生から、部屋に飾ってある軸や花の意味、作法について説明を受けた後、「お先に」と一礼し、茶碗をもちあげ、45度回してお茶を飲みました。参加者からは「楽しかった」「お菓子が可愛くて食べるのがもったいなかった」

などの感想が聞かれました。

Cool Takasaki 発信事業の担当で通訳として同席した国際交流員のアレックスさんは、「外国人が日本の伝統文化に触れるよい機会になったと思う。外国人は体験することが好きなので、コロナ前のように自分で点てる事もできれば、さらに良いと思う。」と振り返りました (事務局)



◆トピックス(2022年10月~11月)

■第30国際交流の集い

10月30日、ビエント高崎で第30回国際交流の集いが、JOMO JET のインターナショナルカーニバルと共同で3年ぶりに開催されました。感染対策をしながら規模を縮小しての開催でしたが、約500人の来場者があり、バラエティに富んだ展示・体験ブースをそれぞれ楽しんでいました。ステージでは京都外国語大学教授のジェフ・バーグランド氏の講演会が行われました。

(第30回国際交流の集い実行委員会 ※6ページの「ともだちひろば」は実行委員長の寄稿が掲載されています)

文化体験

たくさんの人が台湾茶芸を楽しみました。

発展途上国水汲み体験。途上国の女の子の目撃となりました。

ヘナアート体験。ヘナアートのシールを手などに貼ります。

民族衣装展示と国クイズ。講師も会場を見学しました。

JOMO JET

ALTが出身国の紹介をしました。

Brazil Ireland
Mexico Philippines
South Africa
UK USA
Jewish culture

講演会

「日本から文化力～異文化コミュニケーションのすすめ～」

聴講者にも意見を聞く参加型の講演会でした。

●● 参加者の感想 ●●

プラン群馬の会 星野馨さん

プラン・インターナショナル・ジャパンは途上国の子供たちを支援する国際NGOです。特に過酷な現実を生きる女の子たちの支援に力を入れています。女の子たちに課せられた毎日の水汲みは教育を受ける権利を奪い、貧困の連鎖の大きな原因になっています。今回は水汲みの大変さを知っていただくこと、実際使われている容器に水を入れて重さを体験していただきました。水の量は容器の半分でしたが、持ってみた方々はみなその重さと、これを小学校低学年の女の子たちが運んでいるという現実には驚かされていました。今回が途上国の女の子たちの直面する様々な問題に目を向けるきっかけになればと願っています。



■写真中央が星野さん

群馬県台湾総会 齋藤 秀瑛さん

コロナの影響で3年ぶりに高崎国際交流の集いを再開できることになり、最初は不安な気持ちがありましたが、皆さんと協力しあいとでも有意義な交流になりました。会場も賑わい、来場者の方にも絶え間なく笑顔が溢れ、楽しく異文化の体験をしてもらえました。展示も台湾茶芸、茶器、竹細工、ランタンクラフト、台湾原住民のパネルや衣装の披露など、幅広く紹介できました。大勢のボランティアの方達にも助けをもらい、開催できたことに喜びを感じました。



■新規日本語ボランティア事前研修

コロナ流行により見送られていた日本語ボランティアの募集が3年ぶりに行われました。応募者17人は、日本語教育の専門家による研修と秋の日本語教室の見学を終え、1月に始まる冬の日本語教室から活動を始めます。研修は、8月30日・9月6日の2日間(計10時間)、中央公民館で行われ、ヤン・ジョンヨン群馬県立女子大学准教授が、地域日本語教室のあり方と日本語ボランティアの役割について講義しました。(コミュニケーション支援部会)



■秋の日本語教室

9月5日から11月21日まで日本語教室が開催され、30人の支援者が55人の学習者の学びを手伝いました。対面での教室は再開後2期目となり、学習者が若干増えました。支援者からは対面とオンラインそれぞれの良さを活かして、学びを支援していきたいという声が寄せられました。(コミュニケーション支援部会)

ベトナム	12	モンゴル	3	フランス	1
中国	10	バングラディシュ	2	日本	1
フィリピン	6	マレーシア	1	カメルーン	1
パキスタン	5	タイ	1	インドネシア	1
アメリカ	4	ジンバブエ	1	ナイジェリア	1
ネパール	4	インド	1		
学習者合計: 17か国 55人(対面: 34人、オンライ: 21人)					

◆お知らせ(2022年12月~2023年1月)

■外国人のための無料法律相談

弁護士、行政書士、社会保険労務士、年金事務所職員に通訳付きで相談ができます。予約優先ですが、当日申し込みもできます。●日時=12月18日(日曜日)午前10時~午後3時 ●場所=中央公民館集会ホール(末広町) ●通訳=英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、ベトナム語、タガログ語 ●費用=無料 ●予約・問い合わせ=ぐんま外国人総合相談ワンストップセンターへ 電話027-289-8275 (相談日のみ 090-1215-6113)

■冬の日本語教室

生活に役立つ日本語、文化や習慣、生活のルールなどを小さなグループかマンツーマンで学べます。学習をお手伝いするのはボランティアで、専門家ではありません。いずれのコースも計10回です。●対象=日本語を母語としない人 ●費用=500円 ※オンラインは無料 ●申込=開講日の1週間前までに事務局へ電話または協会ホームページから(教室の状況により、お断りする場合もあります)

教室名	コース名	時間	期間
中央公民館教室	火曜日コース	午前10時~11時30分	1月10日~3月28日
	木曜日コース	午後7時~8時30分	1月12日~3月23日
	土曜日コース	午後1時30分~3時	1月14日~3月25日
中居公民館教室	水曜日コース	午後6時30分~8時	1月11日~3月15日
群馬福祉会館教室	月曜日コース	午後7時~8時30分	1月16日~3月20日
新町文化ホール教室	水曜日コース	午前10時~11時30分	1月11日~3月15日
	土曜日コース	午前10時~11時30分	1月14日~3月25日
オンライン教室	曜日・時間は相談してください。1回40分です。		

「やさしい日本語」を知って、使おう！

「やさしい日本語」とは？ 普通の日本語より簡単で、外国人にわかりやすいように配慮した日本語です
 今回は子育て編として保育園入園の準備に困っている外国人から、質問を受ける場面を想定した会話例を紹介します。

やさしい日本語のヒント

・相手が理解しているか確かめる
 ・相手の様子を見て積極的に言い換える
 前号までに紹介した「やさしい日本語」変換のヒントの他に、相手に伝わっているか確認しながら話すことも大切です。文化や習慣の違いから意味が伝わらないこともあります。何が「やさしい」のかは伝える相手によって変わってきます。相手に合わせて配慮や工夫をしながら伝えていくことが必要です。



クマルさん

友子さんの家の隣にはインド人のクマルさん一家が住んでいます。クマルさんは日本語は話せますが、複雑な日本語は理解が難しいようです。クマルさんの子どもが保育園に行くことが決まったので、保育園の持ち物について友子さんに質問にやってきました。



友子さん

■準備するもの

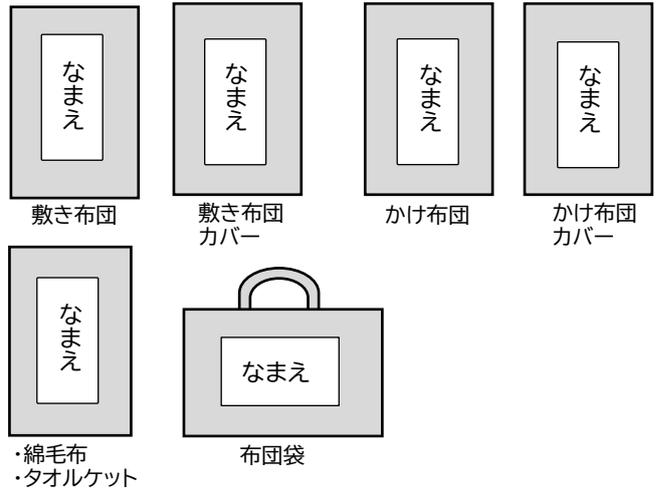
※持ち物にはすべてお名前をはっきり記入してください。

＜園に置いておく物＞

- ・オムツ20枚くらい
 (おしり側のテープの下に、1枚1枚大きく記名してください。残りの枚数が少なくなった時は、連絡しますので補充してください)
- ・おしり拭き 1パック
- ・着替え 上下2枚セット ・肌着2枚
 (使った日は次の日に補充分を持ってきてください)
- ・ビニール袋 30枚
- ・ティッシュ 1箱

＜お昼寝布団について＞

- ・お昼寝布団一式
- ・週末に持ち帰りますので、休み明けに持ってきてください
- ・名札はたて35cmよこ15cm以上の布を縫い付けてください



こんにちは。娘が保育園に行きます。保育園からこの紙をもらいました。準備するものを書いてありますが、ちょっと難しくてわかりません。

保育園に行くんですね。その紙を見せてください。上から順番に説明しますね。まず持ち物には全部名前を書いてください。それから、オムツ20枚くらい、おしり拭き1個、着替え上下2セット、肌着2枚、ビニール袋30枚、ティッシュ1箱を保育園に置いておきます。わかりますか？



←理解の確認



ちょっとわかりません・・・
 着替え上下セットは何ですか？ セーターとTシャツとかですか？ あと肌着は何ですか？

着替え上下セットは、例えばセーターとズボンのセットです。セーターやTシャツを上、ズボンやスカートを下と言います。だから上下セットです。肌着は下着のことです。セーターやTシャツの下に着る下着です。わかりますか？



←理解の確認



はい。わかりました。これを全部保育園に置いておくんですね。

そうです。それから名前を全部書いてください。オムツはおしり側についているテープの下に名前を書いてください。1枚ずつ書いてください。



はい。わかりました。

保育園に置いておく物は、残りが少なくなったら先生が教えてくれます。そしたら新しい物を持って行って補充してください。



…???

オムツは20枚保育園に置きます。先生はそのオムツを10枚使いました。「オムツが少なくなりました」と先生がクマルさんに教えてくれます。そしたら、また10枚保育園に持って行きます。



←わからないなら積極的に別の言い換えをしてみる



わかりました。たくさん必要ですね。この絵の布団は何ですか？

これはお昼寝に使う布団のセットです。お昼寝に使う布団も持って行きます。敷き布団、敷き布団カバー、かけ布団、かけ布団カバー、綿毛布、タオルケット、布団袋にこの絵のように名前をつけてください。という説明ですね。



これは全部寝る布団ですか？寝る布団が5枚必要ですか？

←文化や習慣の違いによって理解が難しい事もあります

寝る布団が5枚必要ではないです。敷き布団は寝る布団です。敷き布団カバーは敷き布団につけるカバーです。綿毛布、タオルケットは、体にかけるブランケットの事です。大丈夫？わかりますか？



←理解の確認



ブランケットですね。大丈夫です。わかります。

掛け布団は冬に使います。ブランケットの上にかけるものです。掛け布団カバーは掛け布団につけるカバーです。布団袋は、敷き布団、ブランケット、掛け布団を全部入れる袋です。お昼寝布団のセットはお店で売っていると思いますよ。それから、縦35cm横15cmくらいの布に名前を書いて縫ってつけます。全部に名前をつけます。



布団のセットはお店で売ってるんですね。わかりましたけど、準備大変ですね 😊

●「やさしい日本語」体験談を募集します●

「やさしい日本語」を使って病院の受付で困っている外国人の手助けをした。「やさしい日本語」のここがわからない…などの声を事務局までお寄せください。

■事務局

e-mail: office@takasaki-irs.org



◆ともだちひろば

国際交流の集い

第30回国際交流の集い 実行委員長 鈴木 宏輝
雲ひとつない秋晴れの下、「第30回国際交流の集い」が3年ぶりに、無事開催されました。

ここまでの道のりは今まで同様とはいかず、大変苦しいものでした。残念ながら参加団体も少なくなり、接触を防ぐために体験コーナーやゲーム、着付けなどは内容を検討せざるを得ませんでした。感染状況も先が読めず変動しているため、事前の実行委員会では難しい判断を迫られ続けました。

そんな心配を抱えながらでしたが、10月30日、第30回国際交流の集いが始まりました。例年通り、JOMOJETさんのインターナショナルカーニバルとの共同開催です。前述のように天気は最高のコンディション。合図とともに11時から開始しました。

コロナ禍であっても、参加、ご協力下さった皆さんは変わりありませんでした。展示内容に力を入れ、熱心に説明

していました。感染対策をした上で体験できるブース、そして試飲もあり、ボランティアの方々の素晴らしさを改めて感じました。



新しい試みとしては、メディアに多数ご出演のジェフ・バードさんの講演会を企画しました。『日本から文化力～異文化コミュニケーションのすすめ』と題し、来日されて50年来の経験を交えた楽しくユーモア溢れるお話で、会場は終始笑いに包まれました。

コロナ禍で様々な工夫を余儀なくされましたが、かえてそれが通常開催への期待と高まりとなったのは、私だけではなかったと思います。ご協力頂いたスタッフと参加の皆さま、本当にありがとうございました。

終わりに、節目の30回の開催を改めてお喜び申し上げるとともに、今後の更なる発展をお祈りしたいと思います。そして、これからもよろしくお祈りします。

ラジオ
たかさき
高崎

マイタウン高崎

【放送日時】

第1・3金曜日 午前9時15分～9時25分
再放送 午後0時30分～0時40分



【放送予定】

12月2日 外国人のための無料法律相談
12月16日 冬の日本語教室
1月6日 イスラム文化について(サラーム会)
1月20日 途上国支援について(プラン群馬の会)

※放送日時や内容が変わることがあります

外国人
生活相談

外国語で

生活相談ができます

【対応言語と相談日】

英語: 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後4時30分
ポルトガル語と中国語: 月曜日と木曜日 午後1時～5時
ベトナム語: 金曜日 午前8時30分～午後0時30分

【場所】高崎市役所2階 国際交流コーナー

※電話でも相談できます

Consultation / 相談 / Consultas / Tư vấn

English: Monday - Friday, 8:30am - 4:30pm

中国語: 星期一和星期四、下午1時～5時

Português: Segunda e quinta das 13:00 às 17:00hs.

Tiếng Việt: Thứ sáu 8:30 ~ 12:30 sáng



◆◆◆令和4年度会費を受け付けています◆◆◆

●会費＝個人2,000円 団体・法人10,000円

(4月～翌年3月の1年間有効)

※10月以降の新規入会は半額

●納入方法＝事務局窓口もしくは郵便振込

詳しい方法は事務局へお問い合わせください

ともだち

発行 高崎市国際交流協会

〒370-8501 高崎市高松町35-1

TEL 027-321-1201

FAX 027-330-1819

MAIL office@takasaki-irs.org

HP http://www.glocalfive.net/tirs

発行日 令和4年(2022年)12月